

「流域計画・流域管理課題分野」(平成26年度採択)

事後評価結果

研究テーマ名	研究代表者	評価
浸水リスクの変化とその提示内容改善が将来の人口分布・土地利用に与える影響とそれらを考慮した水害リスク軽減対策に関する研究 (研究期間：H26年～H27年)	八千代エンジニアリング株式会社 石徹白 伸也	A
<研究概要> <p>河川行政と都市行政による新たな治水対策の方向性を探ることを目的として、富山市のコンパクトシティ施策を前提とした連携方策について検討した。その結果、連続堤防による完全治水ではなく、共通目標とする守るべき地域の浸水深軽減（河川）、立地適正化（都市）が有効な施策となり得ることを確認した。更に、将来の人口分布変化を念頭に置いた効率的な河川施策の実現可能性や、都市施策の適用による被害低減の可能性を提案した。</p>		
<事後評価コメント> <p>現時点で利用可能な検討手法をうまく組み合わせて、流域計画の必要性を具体的に議論することができる結果が提示されていることから、研究目的は達成され、十分な研究成果があったと言える。 今後は、計算条件の明示や比較する数値や図表の工夫など誤解が生じないように十分に配慮を行いつつ積極的に研究成果を公表し、広く議論がなされ、成果が実用につながるよう進展させることが期待される。</p>		

※評価基準

- A: 研究目的は達成され、十分な研究成果があった
- B: 研究目的は概ね達成され、研究成果があった
- C: 一定の研究成果があった
- D: 研究成果があったとは言い難い